

仕様書

1. 件名

OCR スキャナ装置等の賃貸借及び保守業務

2. 使用状況及び目的

本市では、国民健康保険業務・後期高齢者医療保険業務・介護保険業務において、収納業務等の一部の処理を、スキャナ装置・OCR ソフトウェア・OCR アプリケーション（個別開発）とそれに接続する PCで行っている。

このたび、上記スキャナ装置等一式の賃貸借及び保守期間が令和 7 年 9 月 30 日で終了することから、新たにスキャナ装置等一式の調達を実施する。

3. 内容

- ・スキャナ装置 1 台
- ・OCR ソフトウェア 1 式
- ・OCR 業務アプリケーション 1 式
- ・管理用 PC 1 台
- ・バックアップツール 1 式
- ・導入に係る搬入、設置、設定作業等
- ・スキャナ装置等の保守業務
- ・撤去作業

4. 納入場所及び保守履行場所

国保年金課（奈良市二条大路南一丁目 1 番 1 号）

※国保年金課・福祉医療課・介護福祉課の 3 課で利用する。

5. 納入期限、賃貸借期間及び保守期間

（1）納入期限

令和 7 年 9 月 16 日までに納入し、正常に稼働するか確認すること。

なお、納入日等の詳細については、本課担当者と協議の上、決定する。

（2）賃貸借期間及び保守期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日（60 箇月）

※但し、契約日から令和 8 年 3 月末までは受注者の納入及び設定準備期間とし、その期間も賃借料が発生する場合には、令和 8 年 4 月 1 日からの賃借料に含めて見積もること。

なお、設定準備期間中に納入機器及びシステムに問題が生じた際は、責任を持って保守同等の対応を行うこと。詳しくは「7. 導入に係る搬入、設置、設定作業等」及び「8. スキャナ装置等の保守業務」を参照のこと。

6. OCR 仕様

(1) スキャナ装置 1 台

項 目	仕 様	
最大読取速度 (A4 横)	・ カラー ・ グレースケール ・ 二値白黒	片面：150 枚/分、両面：300 面/分 (200/300dpi)
最大読取速度 (A4 縦)	・ カラー ・ グレースケール ・ 二値白黒	片面：115 枚/分、両面：230 面/分 (200/300dpi)
原稿搭載容量	750 枚 (A4：80g/m ²) (注 6)、500 枚 (A3：80g/m ²)	
スキャナータイプ	自動給紙方式 (ADF) + 手差し・単送	
スキャンモード	片面/両面、カラー/グレースケール/二値白黒 (バイナリー)	
イメージセンサー	CIS×2 (表面×1、裏面×1)	
光源	RGB LED (3 色光源切り替え) ×2 (表面×1、裏面×1)	
光学解像度	600dpi	
出力解像度	50～600dpi (1dpi 毎指定可能)、1200dpi (ドライバにて)	
多値レベル	カラー：24bit、グレースケール：8bit、二値白黒：1bit	
原稿背景色	白または黒 (切り替え可)	
読取範囲	最大：304.8×431.8mm (12×17in.) 最小：48×70mm (縦) ※長尺読み取り時：6,096mm まで	
原稿の厚さ	U ターンスキャン：20～256g/m ² ストレートスキャン：20～570g/m ² 厚紙封筒は 1.25mm 以下	
マルチフィード 検出	可 (超音波方式マルチフィードセンサーによる)	
ステープル原稿 検知	可	
原稿保護	原稿の移動量監視	
自動スキュー補正	可	
ドロップアウト	カスタム (マルチカラー)、赤、緑、青、白、有彩色、なし	

カラー		
電圧・電圧範囲	AC100~240V±10%	
消費電力	70W 以下（スリープ時：2.5W 以下）	
動作環境	温度：5～35℃、湿度：15～80%	
インターフェイス	USB	USB3.2 Gen1 / USB3.0 / USB2.0 / USB1.1（コネクタ形状：タイプ B）
	有線 LAN	10BASE-T 、 100BASE-TX 、 1000BASE-T（形状：RJ-45）
ネットワークプロトコル	TCP/IP(IPv4/IPv6)、DHCP、HTTP/HTTPS、DNS、DDNS、UDP	
外形寸法 幅×奥行き×高さ	460×430×315mm	
質量	23kg 以下	
対応 OS	Windows	Windows 11、Windows 10 Windows Server 2025 Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016
ドライバ・ソフトウェア	PaperStream IP(TWAIN / ISIS™ドライバ) PaperStream Capture PaperStream ClickScan PaperStream Central Admin Software Development Kit (SDK)	
環境対応	グリーン購入法、国際エネルギースタープログラム RoHS 指令準拠、エコマーク商品	

（２） OCR ソフトウェア

- ① 『Windows10 Pro』、『Windows11 Pro』の OS 環境で動作可能であること。
- ② 読み取りデータを CSV、TEXT、MOB 形式で出力が可能であること。
- ③ オフライン環境（インターネット接続不要）においてソフトウェアの動作、バージョンアップ、不具合時のパッチ適用等が可能なオンプレミス型製品であること。
- ④ 読込項目数にかかわらず、利用料金の変動がないこと。
- ⑤ 帳票の読み取り定義の設定・調整が可能であること。
- ⑥ 枠の丸付けによる選択等の読み取りが可能であること。
- ⑦ 固定ピッチ手書き文字や活字、QR コード、バーコードの読み取りが可能であること。

- ⑧ 読み取り帳票の画像データを参照し、読み取りを行う範囲を指定するインターフェイスを保有すること。
- ⑨ 読み取りを行う文字の種別（数値、アルファベット）を帳票定義の読み取り項目ごとに指定できること。
- ⑩ 複数の帳票を一度に読み込み、各帳票の定義ごとに自動で仕分けすることが可能であること。
- ⑪ 読み取り結果に対する確認・修正画面のレイアウトを自由に設計できること。
- ⑫ 出力イメージファイル形式は TIFF、JPEG、Bitmap、PNG、PDF であること。
- ⑬ Software Development Kit (SDK)を利用し、個別開発するアプリケーション等からソフトウェアを制御して OCR 処理が行えること。

(3) OCR 業務アプリケーション

現在の OCR 業務アプリケーションの機能や操作性は同等レベルのものを求める。機能については、別紙に示すので参考とすること。

- ① 現行利用している OCR 業務アプリケーションの更新、もしくは現行同等の機能を持つアプリケーションを新規開発し、現在の業務及び、各業務のシステム標準化業務の対応を行うこと。
ただし、上記記載の本市 OCR 業務が OCR ソフトウェアの設定等で簡易に実現できる場合は、アプリケーション開発については必須とはしない。
- ② OCR 業務アプリケーションは、(1) スキャナ装置 (2) OCR ソフトウェアを制御し、帳票のスキャンから OCR 処理及び各業務システム向けデータの確認・出力までが、1つのメニューから処理が行えること。
- ③ 各業務システムへのデータ連携については、業務システム受託業者へ確認を行いデータ形式や受け渡し方法について調整をすること。
- ④ OCR 業務アプリケーションで処理する対応業務及び対象帳票は以下の通り。

業務名： 国民健康保険業務

対象帳票 ： バッチ票×1種

国民健康保険料領収済通知書

現行運用帳票×7種

システム標準化後利用帳票×3種

業務名：後期高齢者医療保険業務

対象帳票 ： バッチ票×1種

後期高齢者医療保険料領収済通知書

現行運用帳票×1種

システム標準化後利用帳票×1種

業務名：介護保険業務

対象帳票：バッチ票×1種

介護保険料領収済通知書

現行運用帳票×1種

システム標準化後利用帳票×1種

(ただし、自主納付分と代理納付分とプログラムを2通り作成すること。)

(4) 管理用 PC

- ① 管理用 PC は、OCR 読取り時の管理用及びパラメータの修正等、読取り作業だけに使用するものとし、他の用途は想定しない。
- ② 管理用 PC は、ノート型 (A4 程度)・光学式マウス・その他付属品の組合せとする。
- ③ 管理用 PC のスペックは、基本的にはスキャナ装置の仕様でシステム環境を満たすこと。ただし、スキャナの読取り及び OCR 処理速度を最大限に実行可能なスペックとすること。
- ④ OS は、Microsoft Windows®11 Pro 64bit (日本語版) とする。
- ⑤ SSD 容量は、256GB 以上、メモリは 16GB 以上とする。
- ⑥ OCR 業務アプリケーションを動作させる環境として、Microsoft Access LTSC 2024 を導入すること。
- ⑦ 管理 PC が故障した際の対応として、システムリカバリーツールを 1 式準備すること。
- ⑧ その他管理用 PC に搭載するソフトウェアは、帳票読取りに必要なものを用意すること。
- ⑨ ソフトウェアライセンスは、本仕様に基づいた OCR 読取りに支障が出ないよう必要なライセンス数を用意すること。

7. 導入に係る搬入、設置、設定作業等

- (1) 本課が指定する箇所に搬入、設置、組立てを行うこと。原則として、平日の 8 時 30 分から 17 時 15 分の間に作業すること。
- (2) スキャナ装置等の設置を行い、正常に稼働すること、及び本仕様書に記載された機能を満たすことを確認すること。
- (3) 設定作業について、本市では現在、各業務のシステム標準化への移行作業を進め

ており、移行後はスキャナ装置で読取る帳票も変更となることから、スキャナ装置の読取り帳票の設定は下記のとおりとする。

- ① 国民健康保険業務に係る帳票は、令和 7 年 9 月 16 日の納入期限までに現システム及びシステム標準化後の帳票双方を読取り可能な設定とすること。
- ② 後期高齢者医療保険業務及び介護保険業務に係る帳票は、令和 7 年 9 月 16 日の納入期限までに現システムの帳票を読取り可能な設定とし、令和 8 年 3 月 23 日までにシステム標準化後の帳票を新たに読取り可能な設定とすること。
- (4) (3) のように各業務システム標準化の過渡期であることから、各システムの完全移行完了が令和 8 年 3 月 23 日となるため、賃貸借期間及び賃借料の支払い開始は令和 8 年 4 月 1 日からとする。
- (5) 各業務対応システムの稼働確認ができた後に、(4) 管理 PC⑦に記載のシステムリカバリツールを利用しシステムのバックアップを取得すること。
- (6) 各業務対応システム稼働の際は、利用職員向けに業務操作の説明会を実施すること。
- (7) 導入作業完了後は、OCR 業務アプリケーションに関する以下のドキュメントを納品すること
 - ① 設計書
 - ② テスト仕様書（兼テスト成績書）
 - ③ 操作説明書

(8) 導入スケジュール



※スケジュールは状況によって変更する可能性があります。

8. スキャナ装置等の保守業務

- (1) 本一件の保守について、故障や不具合等が発生し、発注者の連絡を受けた場合は、業務に支障がないよう速やかに対応すること。また、定期的にメンテナンスを行

うこと。

なお、保守業務は、平日 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 に受付をし、当日オンサイトを目標として対応できるようにすること。

- (2) 保守には、スキャナ装置の他、OCR ソフトウェアおよび OCR 業務アプリケーションも対象とすること。
- (3) 消耗品の供給（交換部品代も含む）は、納入時及び定期メンテナンス時含め受注者が負担すること。
- (4) 保守業務にあたっては、調達物件のメーカ又は純正部品の供給を受けて作業を実施することが可能な代理店や取扱店等が行うこと。
- (5) 保守業務について、保守体制を明らかにする書面等を提出し承認を受けること。
（連絡窓口、対応時間、保守内容の詳細など）

9. 撤去作業

受注者は、賃貸借期間終了後、受注者の負担で撤去作業を行うこと。

10. 留意事項

- (1) この業務の処理上知り得た秘密を、他人に漏らしてはならない。
- (2) この業務の見積期間中に生じた疑義や質問は担当課に申し出ること。
- (3) 仕様書に基づいて適正に見積もること。
- (4) 決定した場合は速やかに担当課と協議に入り、仕様に基づいて誠実に業務を履行すること。
- (5) この仕様書に定めのない事項については別途協議するものとする。

11. 問合せ先（担当課）

奈良市福祉部国保年金課 担当：小寺

TEL:0742-34-4736